

学校法人東京聖栄大学 平成 28 年度事業計画

開学 10 周年記念行事を昨年 6 月に挙行了した東京聖栄大学は、「自立できる知識と技術を育み、強い向上心と真摯な行動力をそなえた人材の育成」との建学の精神の下、社会に貢献できる管理栄養士、食品技術者の育成を柱とした学生教育を進め、研究活動、社会貢献活動等の努力と相俟って、一定の社会的評価を獲得することができました。

平成 28 年度は、これまでの実績を踏まえ、『第Ⅱ期中長期計画（2015-2019）』に掲げる方向性に沿って、変貌する社会環境への適切な対処と課題への取り組みを行ない、特に以下の事項を重点として、大学・専門学校・幼稚園・管理運営の各分野に亘り、事業を推進します。

1 東京聖栄大学 ～開学 10 周年を踏まえ更なる充実・発展を目指して～

- ・組織的な F D 活動による教育の向上
- ・ G P A 制度の導入と運用開始（学生の主体的な学修。教員による適切な指導）
- ・「共通教育センター」の機能発揮（平成 27 年度後期開設）
- ・食品学科見直しについての結論（附属調理師専門学校の見直し検討と連動）
- ・研究の活性化
- ・教育改革への取り組み（ナンバリング策定、アクティブラーニング等）
- ・管理栄養士国家試験（高い合格率の維持）、各種資格取得支援
- ・就職活動へのきめ細かな指導、支援（大学院進学指導、公務員受験指導を含む）
- ・自己点検活動による不断の見直しと向上（P D C A サイクル）
- ・教員年齢構成の是正に向けた努力
- ・改正学校教育法を踏まえて新たに設置した「大学運営会議」による学長補佐体制と円滑な大学運営
- ・入試制度見直し。学生募集広報活動強化
- ・卒業生が愛着を持つ大学づくり（学報の発行回数増と卒業生への送付。聖栄葛飾祭、ゼミ・授業等における在校生との交流機会の拡大等）
- ・教授用及び実験実習用機器類の計画的更新（6 号館）
- ・社会貢献、地域貢献活動の推進（公開講座を含む）

2 附属学校

- 1) 調理師専門学校 ～歴史を踏まえ困難の克服を～
 - ・今後のあり方についての検討と結論
 - ・学生生徒募集対策
 - ・自己評価への取り組み

2) わたなべ幼稚園 ～競争環境を踏まえた対応の強化～

- ・底辺を広げるための幼児教室改革（登園バス拡大、3歳児未就園児の受入検討）
- ・希望者の増加を踏まえた満3歳児保育の改革（受入態勢の検討と勧誘）
- ・園児確保。在園児・保護者への対応と改革（園バスの運行範囲拡大検討等）
- ・ニーズを踏まえた「預かり保育」の充実（保育環境整備、給食の無い日の弁当給食検討、預かり保育終了時のバス運行検討等）
- ・ホームページを活用した園情報、わたなべ幼稚園の魅力の積極的発信
- ・新しい集団給食施設を生かした安全でおいしい給食の提供とPR
- ・「食育」の推進（東京聖栄大学教員・学生との連携等）
- ・教員研修
- ・自己評価への取り組み

3 管理運営

- ・理事会（常務理事会）による学園全体のガバナンスと適正運営
- ・『第Ⅱ期中長期計画（2015-2019）』の具現化
- ・学園70周年事業検討、実施準備
- ・健全な財務体質の構築（学費のあり方検討、私学補助金獲得の積極的検討を含む）
- ・保有資産、施設の有効活用検討（継続検討）
- ・寄付金募集の一層の努力、促進
- ・職員の育成、SD
- ・人員の効率的な配置
- ・仮想サーバ更改等学内LAN環境の整備とセキュリティー対策
- ・法令遵守（各種法令、ガイドライン等に沿った規程整備と適切な対応）
- ・防災対策の推進（備蓄、防火防災訓練、備蓄資機材の習熟等）

以 上